

大会競技規則

少年の部(幼年・小学生・中学生)

1.試合方法

- ・3本勝負(2本先取した者の勝ち)とする。
 - ・1本先取後、試合時間終了の時、1本先取者の優勢勝ちとする。
 - ・試合時間内に勝敗が決しない時、判定によって勝敗を決する。
 - ・準決勝、三位決定戦、決勝戦は、試合時間内に勝敗が決しない時、1分間1本勝負の延長戦を行う。
- さらに勝敗が決しない時、延長戦における判定によって勝敗を決する。
- ・警告は2回をもって相手に一本を与える。
 - ・肘や膝へのサポーターは綿の入っていないものは認める。

2.試合時間

- ・試合時間は1分30秒とする。

3.男子中学3年生のみ面を装着し、面への直接打撃を必要とする。

男子中学3年生以外は、顔面への攻撃は全て「空撃」で当てない。又、顔面への蹴り技は横蹴りのみとする。

4.その他は、日本拳法全国連盟競技規則に則って行う。

高校、一般男子、女子の部

1.試合方法

- ・3本勝負(2本先取した者の勝ち)とする。
 - ・1本先取後、試合時間終了の時、1本先取者の優勢勝ちとする。
 - ・試合時間内に勝敗が決しない時、判定によって勝敗を決する。
 - ・準決勝は、試合時間内に勝敗が決しない時、1分間1本勝負の延長戦を行う。
- さらに勝敗が決しない時、延長戦における判定によって勝敗を決する。
- ・三位決定戦、決勝戦は、試合時間内に勝敗が決しない時、時間無制限の1本勝負の延長戦により勝敗を決する。
 - ・脚部サポーターの装着を認める。

2.試合時間

- ・試合時間は2分間とする。
- ・一般男子(有段)は、準々決勝以上の試合時間は3分間とする。

3.その他は、日本拳法全国連盟競技規則に則って行う。